

10月25日

命の奇跡、大切さを学ぶ 町内の5・6年生が思春期保健講座を受講

胎児人形に触れる児童



命の大切さを知り、正しい性知識を身に着ける平成29年 町内各小学校思春期保険講座が10月25日、弟子屈小学校(佐野哲哉校長)体育館で行われました。

町内の各小学校から5・6年生58人が参加。講師は札幌で助産師として働く安藤由美子さん。「妊娠の成り立ち」や「命のかけがえのなさ」についてのお話に、児童らは真剣に聞き入っていました。用意された胎児人形に実際に触れた児童らは「すごく小さい」「結構おもしろい!」などと、月齢ごとの胎児の違いに驚いた様子でした。

10月21日

消防士の仕事を体験! 弟子屈消防署で防火フェスティバルを開催

ロープ渡りに挑戦!



秋の火災予防運動の一環として10月21日、弟子屈消防署で第23回防火フェスティバル(同実行委員会、弟子屈消防署・消防団主催)が行われました。

あいにくの雨模様で一部屋内での実施に変更になったもののおよそ220人が来場。町内の幼稚園や少年団などによる演奏・演舞の発表や、うどん・ホットケーキなどの炊き出しが無料で行われ、親子連れなどでにぎわいました。体験イベントでは防火衣を着用しての放水体験や、はしご車の乗車体験などが用意され楽しみながら防火意識を高めました。

10月7日

ふるさとの思い出話に花が咲く 東京で弟子屈ふるさと会を開催

全員で「ふるさと」を合唱



首都圏に住む本町出身者やゆかりのある方々でつくる弟子屈ふるさと会(平下覚会長)の第29回総会・ふるさとまつりが10月7日、東京都ホテルグランドヒル市ヶ谷で行われました。

同会には65人の会員が所属し、年に1度総会を開いています。当日は40人が参加。徳永町長や八幡議長らも出席し、徳永町長からは現在の町政が報告されました。

会員の皆さんは久しぶりの再会を喜び、思い出話で歓談。ふるさと納税のPRや町の特産品が当たる抽選会なども行われ、大いに盛り上がりました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

11月1日

町営牧場に新たな施設が 弟子屈町営牧場育成舎が完成!

完成を記念してテープカット



弟子屈町営牧場に新しい育成舎が完成し、11月1日に落成記念式典が行われました。

育成舎の建設は利用者からの要望をもとに、牛の収容頭数を増やすため平成26年度から行われていた事業で、このほど育成舎A、堆肥舎A・Bが完成。今回完成した育成舎Aでは100頭の牛の受入れが可能。

この日は真新しい育成舎に農業関係者らが集まり、施設紹介などが行われたのち、徳永町長らによってテープカットが行われました。事業は平成31年度まで実施され、今後育成舎Aと同型の育成舎Bも完成する予定です。

11月1日

おいしいパンを手作りで 旧昭栄小学校で手ごねパン教室を開催

本間さん(右手前)の指導の下



旧昭栄小学校の空き教室を利用したパン教室が、11月1日に開催されました。

講師を務めたのは、釧路市でパン教室「こむぎや」を開いている本間操さん。当日は町内外から9人が参加し、町内産のジャガイモなどを使った「コーンジャガパン」の調理に挑戦しました。

パン作りは初めてという参加者の方も多く、先生のお手本を見ながら皆さん丁寧に調理していました。2時間半ほどかけて、ひとり6個のパンが完成。きれいに焼きあがったパンで、ランチタイムを楽しみました。

10月18日

地域の役に立ちたい 多田塗装の皆さんが駐車場を塗装

見やすくきれいに塗装されました



(株)多田塗装(多田征人代表取締役)の皆さんが10月18日、道の駅「摩周温泉」駐車場の塗装作業を行いました。

観光客の方や地域の皆さんに気持ちよく使ってほしいと、社会貢献の一環として行ったもの。塗装用の特殊な機械を使って、皆さん丁寧に作業。塗装がはがれて見えなくなっていたマークがきれいに描かれました。

10月11日

アイヌと植物との関わりを紹介 くっしゅろ講座第8回を開催

実際に見て、触れて学ぶ



屈斜路湖周辺の歴史・文化の収集、発信などを行う地域活動団体・チームくっしゅろ(斎藤敬子代表)主催のくっしゅろ講座第8回が10月11日、川湯ふるさと館で行われました。

「植物たちが教えてくれること」をテーマとして、斎藤さんが身近にある樹木や植物をアイヌの人たちはどのように利用したかを説明し、阿寒摩周国立公園内で該当植物が見られる場所を紹介。樹皮で編まれた装身具や道具、器といった木工品も展示され、参加者の皆さんは実物を手にとりながら、植物の特長を生かしたアイヌの人たちの知恵に触れていました。

11月6日

卒業記念に特別な作品を 弟子屈中学校で摩周焼きの体験実習を実施

森さん(右)指導の下楽しく作業



第17回摩周焼体験学習が11月6日、弟子屈中学校(佐藤敬喜校長)体育館で行われました。

中学3年生の卒業記念作品の制作として毎年行われています。今年も弟子屈中、川湯中(千葉徹校長)の生徒合わせて56人(一部2年生も参加)が体験。初回から講師を務める摩周焼窯元の森雅子さんとスタッフの方々の指導の下、丁寧に作成しました。時にはスタッフの方に手伝ってもらったり、生徒同士で助け合ったりしながら、世界に一つだけの作品を作りあげました。作品は森さんの窯で焼き上げられ、後日生徒たちの手に届けられます。

この日は真新しい育成舎に農業関係者らが集まり、施設紹介などが行われたのち、徳永町長らによってテープカットが行われました。事業は平成31年度まで実施され、今後育成舎Aと同型の育成舎Bも完成する予定です。

11月4日

北海道ならではの観光列車運行へ JR釧網線で観光列車モニターツアーを開催

川湯ばやしで歓迎



北海道が主催する北海道観光列車のモニターツアーが、11月3～4日実施され、4日には川湯温泉駅に、観光列車がやってきました。

このモニターツアーは、北海道ならではの観光列車の運行に向けて、運行体制や旅行者動向、地域の受入体制などを具体的に検証・調査するため行なわれているもので、当町では、ツアー参加者をさまざまな形で歓迎しました。

標茶町塘路駅からバスに乗り換えたツアー参加者は、砂湯などの町内観光地を巡り、再び列車に乗るため川湯温泉駅へ。駅では川湯ばやし披露されました。

10月21日

美しい紅葉や名木を巡る 秋の名木ツアーを開催!

萩原さんの説明に聞き入る皆さん



町と根釧西部森林管理署の共催で10月21日、秋の名木ツアーが行われました。町内外から12人が参加し、中央1丁目のモミジなど名木3本を觀賞したほか、和琴半島と硫黄山探勝路を巡り紅葉や落ち葉の観察など「おとなの遠足」を楽しみました。

北海道認定木育マイスターで、てしかが自然学校代表の萩原寛暢さんと森林管理署員によるガイドに、参加者の皆さんは熱心に聞き入り、来年も参加したいとの声が多く寄せられるなど大好評を博しました。

10月19日

将来の運転者としての心構えを学ぶ 弟子屈高校で交通安全講習を開催

将来の運転者としての自覚を



弟子屈高校(木村浩士校長)で10月19日、秋の交通安全講習が行われました。

この講習は毎年、愛国自動車学校(釧路市)から講師が招かれ、近い将来に運転者となる高校3年生を対象に、交通事故防止について講演が行われています。特殊な眼鏡を装着して飲酒運転の疑似体験をしたり、動体視力測定をする体験も行われ、歩行者としてだけでなく、運転者としての交通安全の大切さを学びました。